

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位の	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
葛城市	学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	地域ボランティア登録者の年齢が高齢化しており、事業継続のために、ボランティア登録者数(特に若い世代)の増加が必要である。また、地域ボランティアと学校現場を取り次ぐ、コーディネーターも高齢化しており、早急な後任の確保・育成が必要である。	持続可能な地域学校協働活動に向けて取組を進めているが、高齢化による地域ボランティアや地域コーディネーターの人材不足が課題となっていることから、若い世代の参加を促し、活動の主体となってもらうことで後継者の育成につなげる。	令和6年度は、目標とするボランティアの登録者数に届かなかった。各校PTA等を通して、ボランティアが必要な活動を広く周知すると共に、保護者に向けてボランティア登録への積極的な呼びかけを行い、若い世代の登録を促す。また、既存の登録者にも知人・近隣の方への呼びかけを行っていただく。	若い世代の地域ボランティア登録者数を増加させ、後任の地域コーディネーターを育成することで、地域学校協働活動が持続可能になる。	ボランティア登録者数	231	人	250	251	令和7年度は目標とするボランティア数に到達し、コーディネーターを中心とした地域ボランティアの方々に、学習支援や環境整備等に取り組んでいただいた。児童一人一人の状況に応じた丁寧な関わりや、安全面にも十分に配慮いただいたことで、継続的で安定した支援体制を構築することができた。学校が地域全体の教育力を高める拠点となることを目標とし、学校・地域パートナーシップ事業を核とした取組を一層充実させる。また、取組を充実させることにより、教員の働き方改革につながる取組にしていきたい。	https://www.city.katsuragi.nara.jp/soshiki/shogaigakushuka/1/index.html